

## 令和 2 年度医療機関再編統合等支援事業計画書

## 1. 整備事業の目的及び地域医療構想との関係

当法人内には以下 2 つの病院があります。

①荻原整形外科病院（中央区）〔急性期 52 床〕…昭和 51 年にそれまでの診療所から現在の荻原整形外科病院を開設。二次救急指定を受け専門性の高い整形外科疾患の手術を行い急性期としての機能を果たしてきましたが、建物の老朽化が顕著になってきています。

②荻原みさき病院（兵庫区）〔回復期 60 床、慢性期 34 床〕…昭和 60 年に旧金沢病院を買い取りみさき病院（現在の荻原みさき病院）を開設。回復期リハビリテーション病棟と医療療養病棟にて充実したリハビリテーションを提供し患者の在宅復帰を支援しています。回復期および慢性期の機能を果たしてきましたが、こちらも建物の老朽化が顕著になってきています。

移転先はこれまでと同じく神戸医療圏域ですが、直近の病床機能報告である H30 年度において、回復期病床について地域医療構想が掲げる必要病床数に比して約 2,600 床が不足とされ、急性期病床は約 1,500 床が過剰とされています。これらの課題を踏まえ、急性期病床を回復期病床に転換することで、過剰病床を減床させ、不足病床の増床を図ります。

本格的な高齢社会を見据えの今後医療ニーズに対し、両院の強みを効率的に活用するため、荻原整形外科病院と荻原みさき病院を統合して長田区に新築移転します。

新病院では回復期病床を（112 床を予定）これまでの 1.8 倍に拡大し、急性期病院等からの在宅復帰を目指す患者に充実したリハビリテーションを提供して回復期機能で地域医療貢献を果たしていきます。また、患者さんの身体機能回復に資するリハビリテーション機器を導入しリハビリテーションの質の拡充に取り組みます。

慢性期病床（30 床を予定）にあたっては引き続き積極的なリハビリテーションを提供し在宅復帰を支援するとともに、訪問看護ステーションのサテライトを設置してレスパイト入院や在宅医療にも応え地域包括ケアシステムを支えます。

上記を踏まえ、神戸圏域で過剰となっている急性期病床を減床するとともに、不足している回復期病床を増床することにより、地域医療構想に資するものと考えます。

## 2. 再編統合等関係医療機関の概要

## 申請者医療機関

開設者（設置者）		施設名		所在地		
医療法人一輝会 理事長 荻原 徹		荻原みさき病院		神戸市兵庫区切戸町 6 番 26 号		
施設の規模及び構造						
（敷地面積）		1,141.96 m <sup>2</sup>		（自己所有地、借地の別） 自己所有で一部借地		
（建物構造）		本館・・・RC 造	6 階建	（建築面積）		808.80 m <sup>2</sup>
		新館・・・SRC 造	6 階建	（延べ面積）		3,842.47 m <sup>2</sup>
		管理棟・・・S 造	3 階建			
病床機能（前年度病床機能報告の稼働病床）						
区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	
稼働病床	0 床	0 床	60 床	34 床	94 床	

## 相手先となる医療機関

開設者（設置者）	施設名		所在地		
医療法人一輝会 理事長 荻原 徹	荻原整形外科病院		神戸市中央区北長狭通 5 丁目 3 番 5 号		
施設の規模及び構造					
（敷地面積）	441.27 m <sup>2</sup>	（自己所有地、借地の別）		自己所有	
（建物構造）	RC 造 5 階建	（建築面積）		377.51 m <sup>2</sup>	
		（延べ面積）		1,761.84 m <sup>2</sup>	
病床機能（前年度病床機能報告の稼働病床）					
区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
稼働病床	0 床	52 床	0 床	0 床	52 床

※関係医療機関が2つ以上ある場合は、記入欄を追加すること

## 3. 再編統合等整備計画

### (1) 整備区分 ※該当する区分に○

	新增改築	改修	改装	医療機器
① 医療機関の統廃合	○			○
② 病床機能の集約				

※医療機器の整備については、病床機能の転換が伴う場合のみ対象

### (2) 整備施設の概要（見込）

開設者（設置者）	施設名		所在地		
医療法人一輝会 理事長 荻原 徹	（仮称）荻原病院		神戸市長田区大橋町 7 丁目 1 番 1 号		
施設の規模及び構造					
（敷地面積）	3,736.70 m <sup>2</sup>	（自己所有地、借地の別）		区分所有	
（建物構造）	鉄筋コンクリート造 14 階建（病院は 1～5 階）		（建築面積）		2,454 m <sup>2</sup> （建物全体）
			（延べ面積）		14,717 m <sup>2</sup> （病院部分 7,931 m <sup>2</sup> ）

### (3) 整備計画 ※該当する箇所にもみ記入

#### ① 医療機関の統廃合

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
統合前 病床総計	0 床	52 床	60 床	34 床	146 床
統合後 病床総計	0 床	0 床	112 床	30 床	142 床
差引	0 床	△52 床	52 床	△4 床	△4 床

※統合前病床総計は、「2. 再編統合等関係医療機関の概要」の関係する医療機関の稼働病床数の合計を記入

※統合後病床総計は、新たに整備する施設の病床数を記入

②病床機能の集約

病床機能の集約に関連する医療機関の病床数の総計

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
集約前 病床総計	床	床	床	床	床
集約後 病床総計	床	床	床	床	床
差引	床	床	床	床	床

※集約前病床総計は、「2. 再編統合等関係医療機関の概要」の関係する医療機関の稼働病床数の合計を記入

(ア) 集約する医療機関

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
集約前	床	床	床	床	床
集約後	床	床	床	床	床
差引	床	床	床	床	床
<集約に伴い整備する病床数>				〇〇〇期	床

(イ) 集約される医療機関

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
集約前	床	床	床	床	床
集約後	床	床	床	床	床
差引	床	床	床	床	床

(4) 整備事業の内容

事業期間	事業期間	着工：令和3年3月1日 ～ 竣工：令和5年1月31日
事業費	総事業費	3,333,947,334円
	当該年度事業費	10,001,842円

4. 事業費及び補助申請(見込)額

総事業費 (対象経費)	基準額		補助見込額
	建物及び附属設備の整備額	医療器具等の購入額	
3,733,947,334円 (1,730,409,536)	3,333,947,334円 (1,675,409,536)	400,000,000円 (55,000,000)	772,630,000円 386,315,000円

※基準額は対象病床数×整備区分ごとに定めた基準単価  
 ※補助見込額は対象経費と基準額の低い額の1/2相当額

【基準額内訳】  
 建物整備  
 5,365千円×142床=761,830千円  
 医療機器購入  
 10,800千円

事務連絡

令和2年9月9日

兵庫県健康福祉部健康局医務課長 様

神戸市健康局地域医療課長

## 令和2年度 医療機関再編統合等支援事業補助金について

標記の補助金につきまして、神戸圏域内の医療機関より事業計画書の提出があり、神戸圏域地域医療構想調整会議（病床機能検討部会）において協議いたしましたので、下記のとおり報告いたします。

## 記

## 1. 神戸圏域地域医療構想調整会議（病床機能検討部会）の開催について

(1) 日時：令和2年8月28日（金）13:30～14:30

(2) 場所：神戸市医師会館 4階ホール

## 2. 協議結果

医療機関名	医療法人一輝会
圏域地域医療構想調整会議の意見	統合後の病院で急性期から回復期に52床の病床機能転換と慢性期を4床減少することを圏域として了承する。 移転する長田区でも地域の医療機関等と連携して、更なる地域医療の向上に貢献していただきたい。

## 3. 提出書類

- ・事前協議依頼文
- ・令和2年度医療機関再編統合等支援事業計画書
- ・工程図
- ・平面図

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

神戸市健康局地域医療課

電話：078-322-5246（直通）

E-mail：komet@office.city.kobe.lg.jp